






研究者名※	田中有美	学位※	博士
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	教授
連絡先	tanakay@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/tanakay2020		
研究分野※	比較文学		
研究キーワード※	アメリカ文学、日本文学、スペイン文学、翻訳、クリティカル・フード・スタディーズ		
共同研究・競争的資金等の研究課題	セルバンテス『ドン・キホーテ』の日米現代文化における受容文学と食		
社会貢献・産学官連携活動等	(1) 国際ロータリー第2790地区 奨学生へのスピーチ (千葉市、2018年6月) (2) 柏市郷土資料展示室 第19回 芹沢銈介作品展「芹沢銈介×棟方志功:装幀と描かれた物語の世界」セルバンテス及び『ドン・キホーテ』解説(2015年5月~9月) (3) 柏ロータリー・クラブ 例会 アメリカ留学についての卓話(2007年11月) (4) 国際ロータリー第7950地区年次総会 国際交流についてのスピーチ(アメリカ、ロード・アイランド州ニューポート、2007年9月) (5) アメリカ、マサチューセッツ州シチュエット・ロータリー・クラブ 例会 国際交流についてのスピーチ(2005年9月)		
受賞歴			

研究領域	比較文学 アメリカ南部文学、日本文学、食	(SDGs)	  
研究テーマ※	文学と食、食の表象		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 西洋文学の古典である『ドン・キホーテ』の受容史や理解の変遷を研究していく過程で、アメリカの南部文学の伝統や歴史を考察する必要が生じた。その際に、南部文学/文化における食というものの特異な立ち位置を理解するに至った。南部文学/文化を考察対象に定め、食の表象や食に関わるナラティブ、言語表現の分析を通して、当地におけるアイデンティティ形成やジェンダー、エスニシティ、社会階層の構造、価値観の創出について考察を進めている。</p> <p>【応用例、研究の展望】 今後は、南部だけでなく、アメリカの他の地域文化にも考察を広げるとともに、日本文学/文化をフード・スタディーズ的な視点で考察していく。また、日本語で書かれた優れた食に関する文学作品や評論を英語に翻訳して広く発信していく試みにも着手しはじめている。</p> <p>【研究方法の特色】 言語テキストを中心に据えつつも、食を切り口にすることによって、社会科学や自然科学とも関わる超域的な研究となっていること。</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジェマイマ・コードを超えて:エドナ・ルイス『田舎料理の味』の場合」『多様体』第3号(2020):105-129。(招待有) ・「布袋腹のドン・キホーテ:ジョン・ケネディ・トゥールの『愚か者連合』を読む」『世界文学』123号(2016):24-31。(査読有) 		
共同研究・外部機関との連携への期待			